

⑪ 電気通信工学グループ運営委員会

本委員会は、20年7月、8月、10月、21年3月の計4回開催し、電気通信工学における学士力を検討した。検討に際して、「情報」を入れるかどうかについて意見交換した結果、「電気通信」に絞ることにしたが、情報は電気通信と緊密な関係のあることから内容的には含まれるものとした。求める能力としては、①知識・理解として、「電気通信関連技術者の専門力、基礎学力、応用力」、②技能として、「安心・安全を維持するなどの問題解決力、定量的な解析力、批判力」、③態度・志向性として、「倫理観、社会に還元する気概と能力を持つ責任感、指導力」、④統合的な学習経験と創造的思考力として、「人間性の向上、文化の発展に寄与、創造力の向上」を整理し、インターネットで電気通信工学担当教員（サイバーFD研究員）459名に意見を求めたところ、27名から「学士教育より修士教育を含めて可能になる知識理解となっている、幅広くなる専門知識を理解するための基礎力に重点をおくべき、JABEEとの関連に触れていない、グローバル化する分野から世界的視野に立った社会的責任感と気概が必要、コミュニケーション力が必要」などの意見を踏まえ、以下の次頁の通り中間的にとりまとめた。

<電気通信工学教育における学士力>

1. 知識・理解

電気工学、通信工学、電子工学の基礎知識を持ち、エネルギー、ネットワーク、コンピュータ、材料・デバイス、計測・制御等の関連技術の基礎を理解できる。

2. 汎用的技能

電気通信関連分野における種々の問題解決に際して、設計、シミュレーション、プログラミング、試作などの基礎技術を身に付けている。

3. 態度・志向性

社会の基盤である電気通信技術の重要性を理解する中で、自然環境や社会環境との関わりを常に認識し、安全・安心に配慮することができる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

電気通信技術者として、社会のニーズに応える最新技術の動向を把握し、積極的に取り入れ、活用できる。

その後、詳細な学士力、評価測定などを21年度に検討することを確認した。